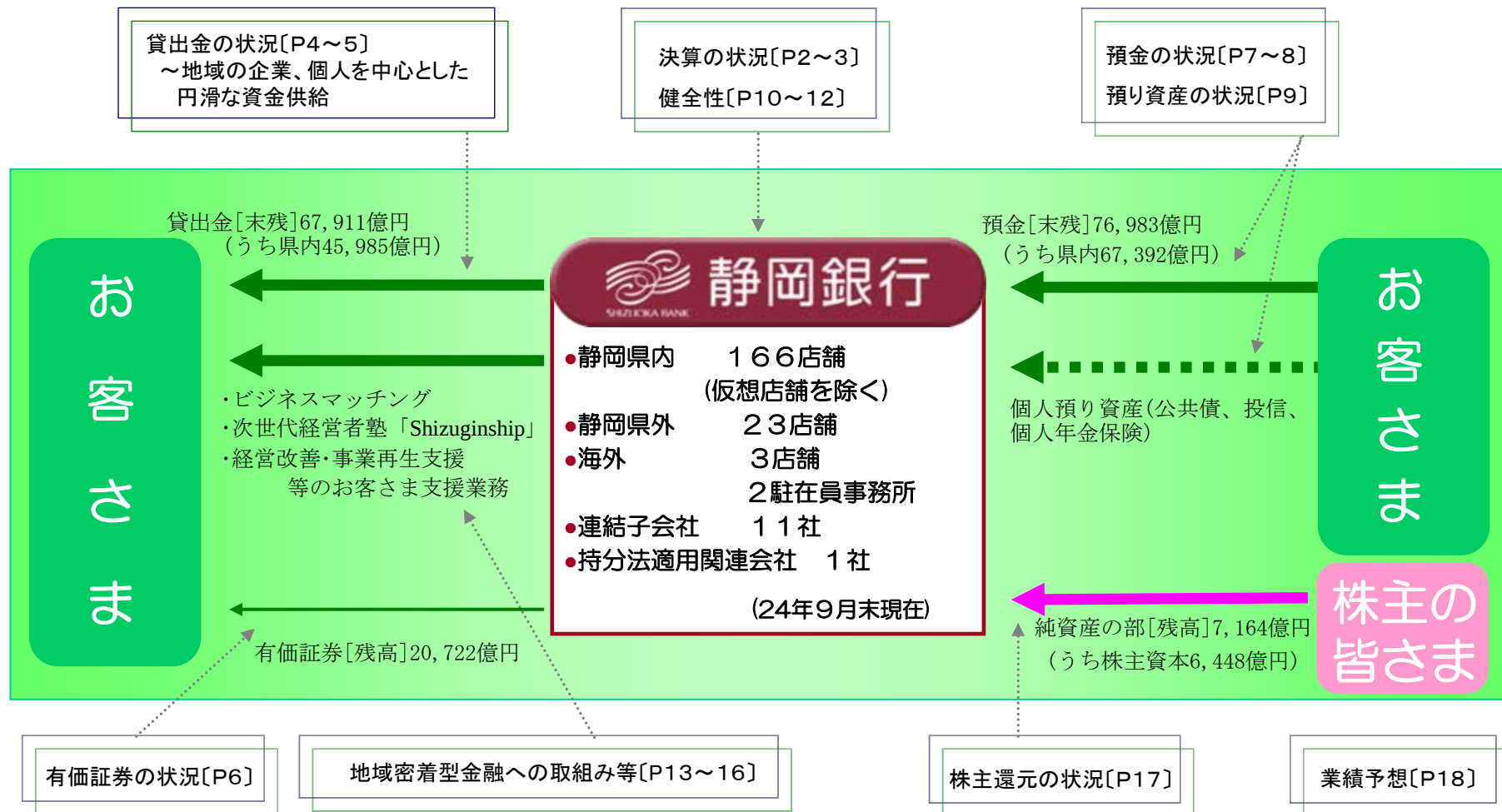


地域のお客さまとともに ～平成24年度中間決算ハイライト～

地域のお客さまとともに

- 静岡銀行では、株主の皆さまからご出資いただいた資金、お客さまからお預りした資金をもとに、静岡県を中心としたお客さまへご融資を行い、暮らしや事業の夢の実現のお手伝いをするとともに、地域密着型金融への取組みなどを通じて地域経済の持続的な発展に貢献することを経営の基本姿勢としています。



※本資料の金額等は原則として単位未満を四捨五入しています。

また、本資料における予想値については、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

決算の状況(連結)

(億円、%)

《連結決算の状況》	24年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
連結経常収益	1,041	△91	△8.0
連結経常費用(△)	686	△40	△5.5
連結経常利益	354	△50	△12.5
連結中間純利益	351	+128	+57.4

連結経常収益	前年同期比△91億円減収(2期振り)
--------	--------------------

連結経常費用	前年同期比△40億円減少
--------	--------------

連結経常利益	前年同期比△50億円減益(4期振り)
--------	--------------------

連結中間純利益	前年同期比+128億円増益(2期連続)
---------	---------------------

《連結子会社(11社)》

静銀経営コンサルティング(株)
 静銀リース(株)
 静岡コンピュータサービス(株)
 静銀信用保証(株)
 静銀ティーシーカート(株)
 静岡キャピタル(株)
 静銀ティーム証券(株)
 静銀総合サービス(株)
 静銀モーゲージサービス(株)
 静銀ビジネスクリエイト(株)
 欧州静岡銀行

《持分法適用関連会社》

静銀セゾンカード(株)

- 連結経常収益は、国債等債券売却益を中心にその他業務収益が増加(+15億円)したものの、資金運用収益の減少(△49億円)、貸倒引当金戻入益によるその他経常収益の減少(△58億円)などにより、前年同期比△91億円の1,041億円となりました。
- 連結経常費用は、その他業務費用の減少(△25億円)およびその他経常費用の減少(△10億円)を主因に、前年同期比△40億円の686億円となりました。
- この結果、連結経常利益は、前年同期比△50億円の354億円となりましたが、連結中間純利益は負ののれん発生益の計上(129億円)、法人税等合計の減少(△42億円)などにより、前年同期比+128億円の351億円となりました。

決算の状況(単体)

(億円、%)

《静岡銀行単体の状況》	24年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
経常収益	887	△88	△9.0
業務粗利益	757	△7	△0.9
資金利益	599	△53	△8.1
役務取引等利益	77	+3	+3.4
特定取引利益	1	+4	+147.6
その他業務利益	79	+40	+99.1
(うち国債等債券関係損益)	77	+20	+34.9
(うち金融派生商品損益)	△4	+22	+85.7
経 費 (△)	400	△8	△1.8
基礎的業務純益※1	280	△19	△6.5
実質業務純益※2	356	+0	+0.1
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—
業務純益	356	+0	+0.1
臨時損益	△29	△46	△263.3
うち不良債権処理額 (△)	3	+2	+194.6
うち貸倒引当金戻入益	10	△64	△86.7
うち株式等関係損益	△32	+20	+38.7
経常利益	328	△46	△12.3
特別損益	△0	△1	△130.4
税引前中間純利益	327	△47	△12.6
法人税等合計 (△)	119	△40	△25.0
中間純利益	208	△7	△3.4

※1 基礎的業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

※2 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額

経 常 収 益 前年同期比△88億円減収(2期振り)

- 経常収益は、国債等債券売却益が増加（＋17億円）したものの、資金運用収益の減少（△48億円）、貸倒引当金戻入益の減少（△64億円）などにより、前年同期比△88億円の887億円となりました。

業 務 粗 利 益 前年同期比△7億円減益(2期連続)

- 業務粗利益は、その他業務利益（＋40億円）、特定取引利益（＋4億円）および役務取引等利益（＋3億円）が増加したものの、資金利益の減少（△53億円）により、前年同期比△7億円の757億円となりました。

業 務 純 益 前年同期比微増(4期連続増益) [過去最高益]

- 業務純益は、経費の減少（△8億円）により、前年同期比微増の356億円となりました。

経 常 利 益 前年同期比△46億円減益(2期振り)

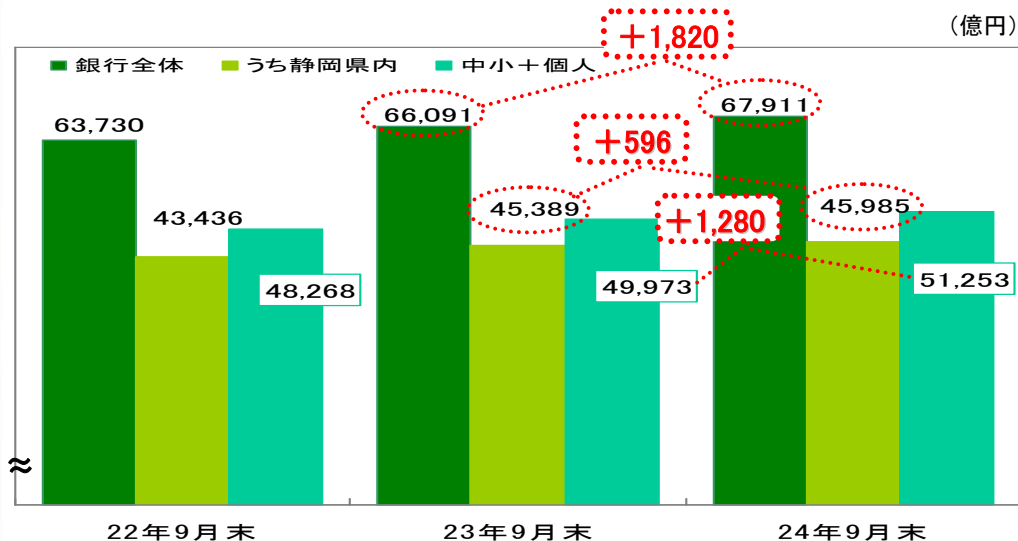
- 経常利益は、株式等関係損益が改善（＋20億円）したものの、貸倒引当金戻入益の減少（△64億円）により、前年同期比△46億円の328億円となりました。

中 間 純 利 益 前年同期比△7億円減益(2期振り)

- 中間純利益は、法人税等負担の減少があり、前年同期比△7億円の208億円となりました。

貸出金の状況①

貸出金残高(末残)の推移



●24年9月末の貸出金残高(末残)は、67,911億円と前年同期末比+1,820億円(年率+2.8%)の増加となりました。

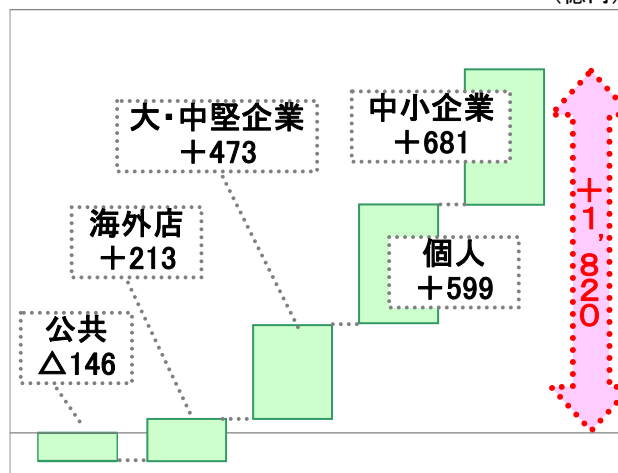
貸出金残高(末残)増加の主な内訳は以下のとおり

- ・ 中小企業向け +681億円(年率+2.5%)
- ・ 個人向け +599億円(年率+2.7%)

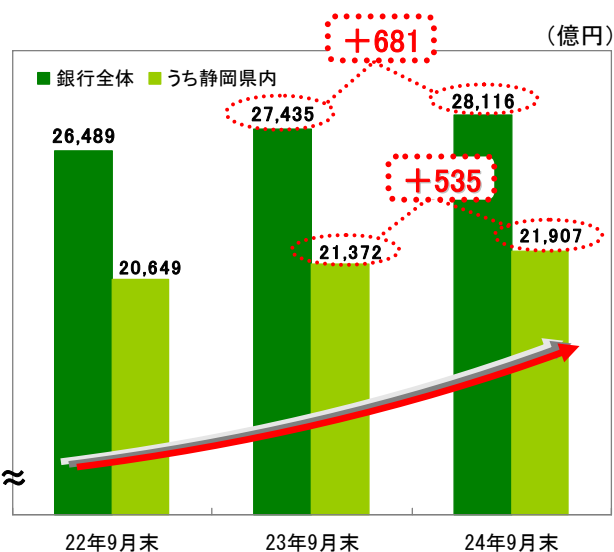
なお、中小企業向けに個人向けを加えた増加額は+1,280億円(年率+2.6%)となりました。

企業規模別 貸出金残高(末残)の増減

【貸出金増減額内訳(前年同期末比)】

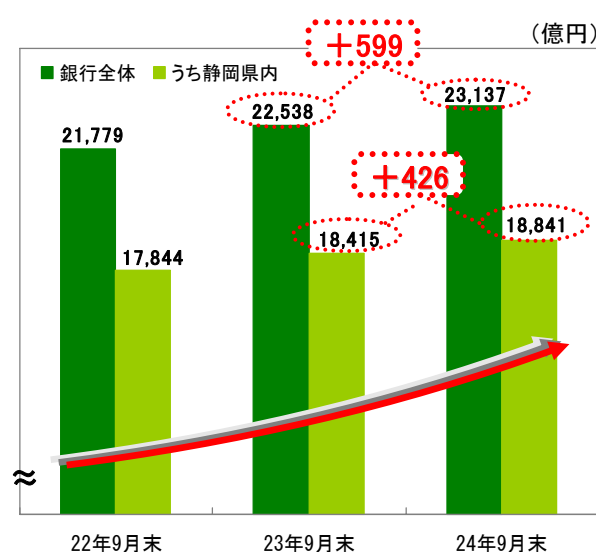


うち中小企業向け貸出金残高(末残)の推移



※地方公社を含みません。

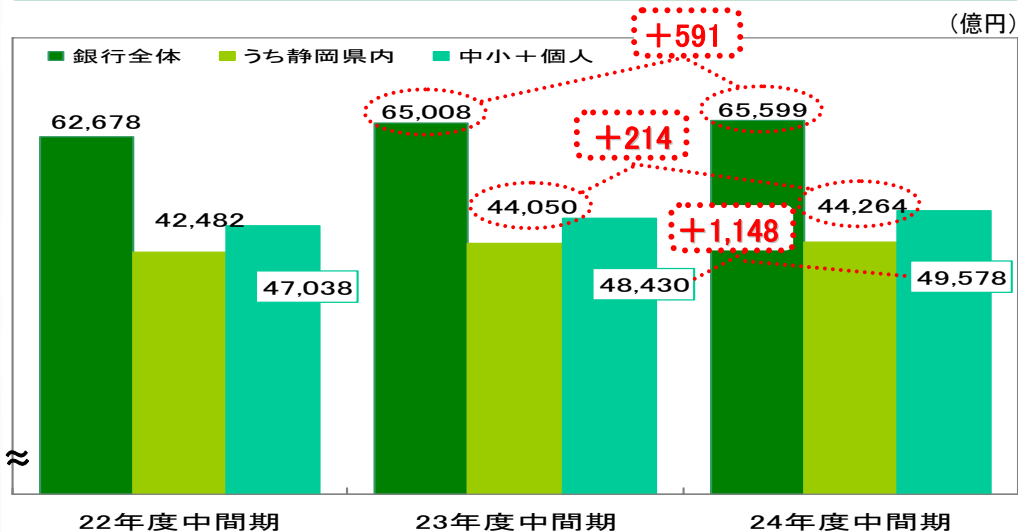
うち個人向け貸出金残高(末残)の推移



※アパートローンを含みます。

貸出金の状況②

貸出金残高(平残)の推移



●24年度中間期の貸出金残高(平残)は、大・中堅企業向けが減少したものの、前年同期比+591億円(年率+0.9%)の65,599億円となりました。

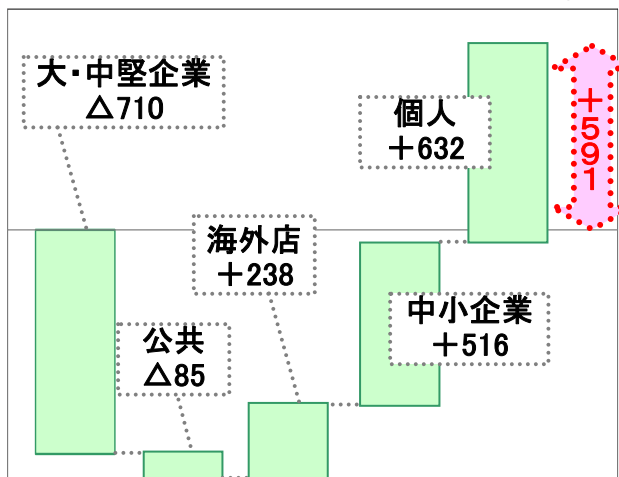
貸出金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

- ・ 中小企業向け +516億円(年率+2.0%)
- ・ 個人向け +632億円(年率+2.8%)

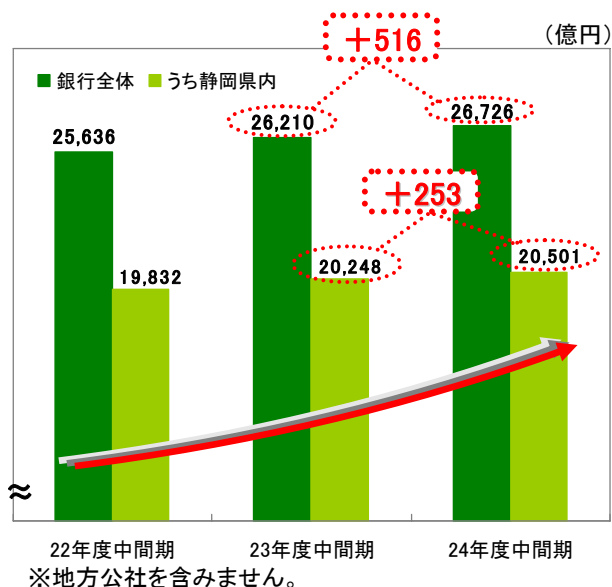
なお、中小企業向けに個人向けを加えた増加額は+1,148億円(年率+2.4%)となりました。

企業規模別 貸出金残高(平残)の増減

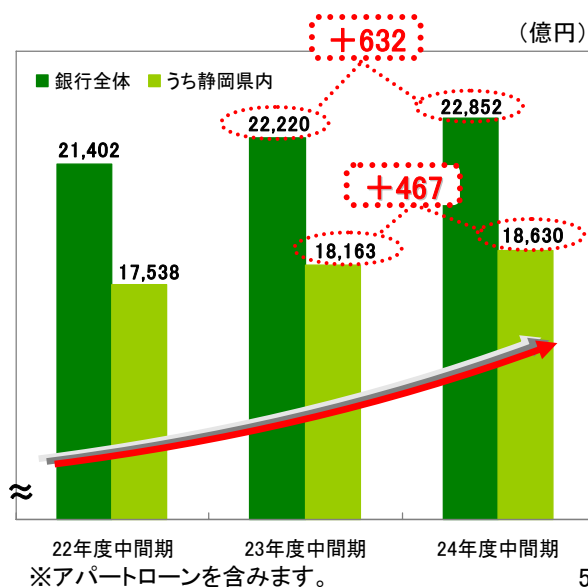
【貸出金増減額内訳(前年同期比)】



うち中小企業向け貸出金残高(平残)の推移



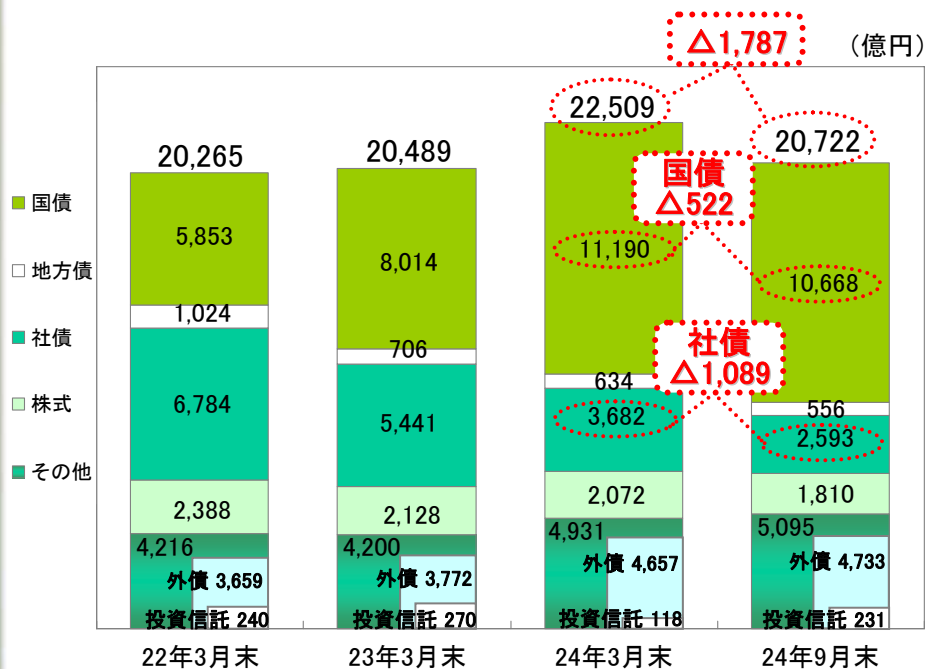
うち個人向け貸出金残高(平残)の推移



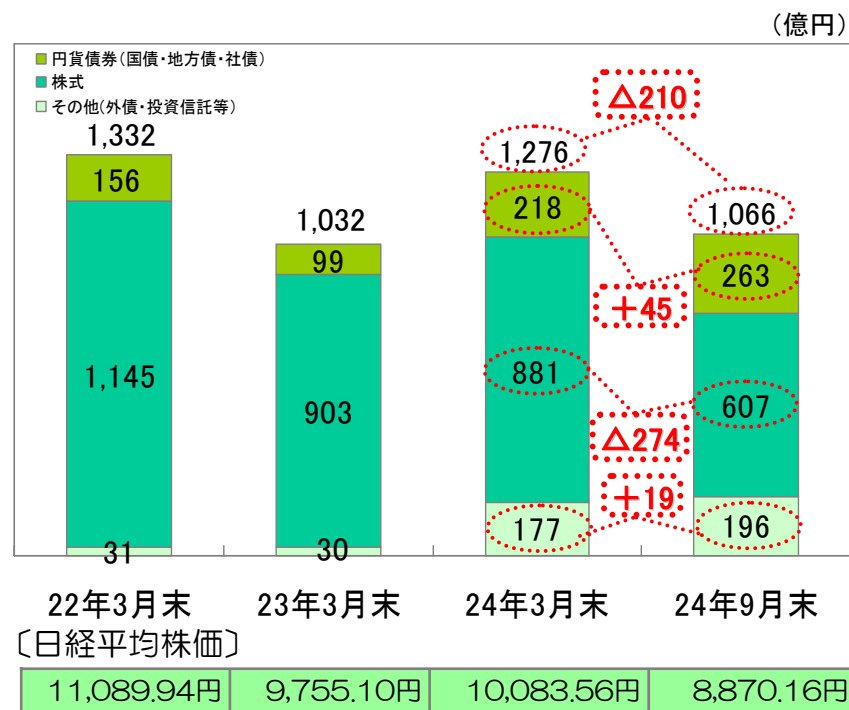
有価証券の状況

- 24年9月末の有価証券残高は、社債を中心に24年3月末比△1,787億円の20,722億円となりました。
- 24年9月末の有価証券評価損益は、24年3月末比△210億円の1,066億円となりました。金利低下により円貨債券が+45億円、その他が+19億円（うち外債+20億円）となった一方、株価低迷により株式が△274億円となりました。

有価証券残高の推移



有価証券評価損益の推移



有価証券平均残存期間の推移

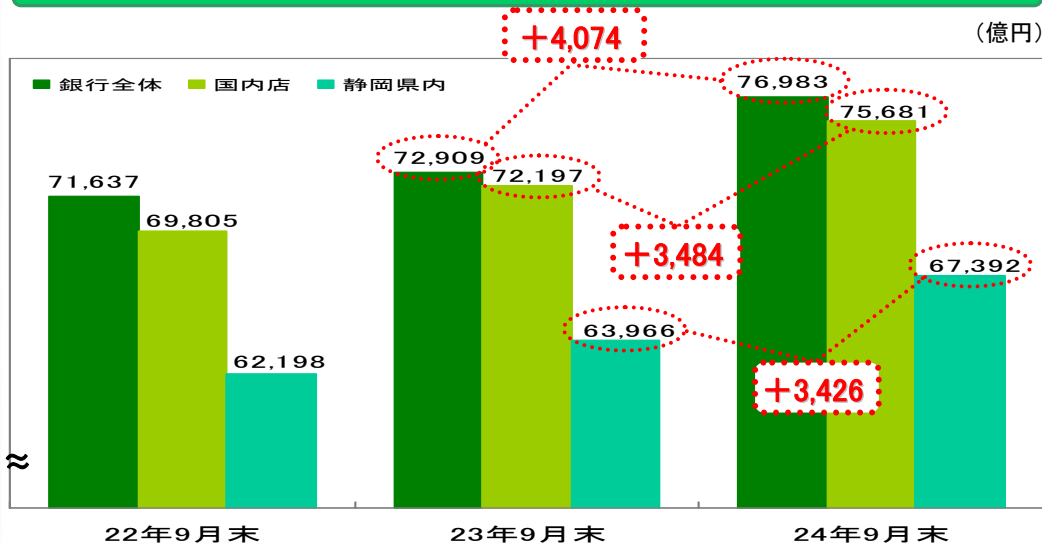
- 相場動向に応じた機動的な対応により、収益性および健全性の向上に努めています。

	22年3月末	23年3月末	24年3月末※	24年9月末※
円貨債券	4.73年	5.03年	5.25年	4.81年
外貨債券	2.60年	2.18年	3.45年	3.18年

※ 従来のベンダーシステムに代えて行内管理システムにより算出する計数の使用に変更しています。

預金の状況①

預金残高（末残）の推移

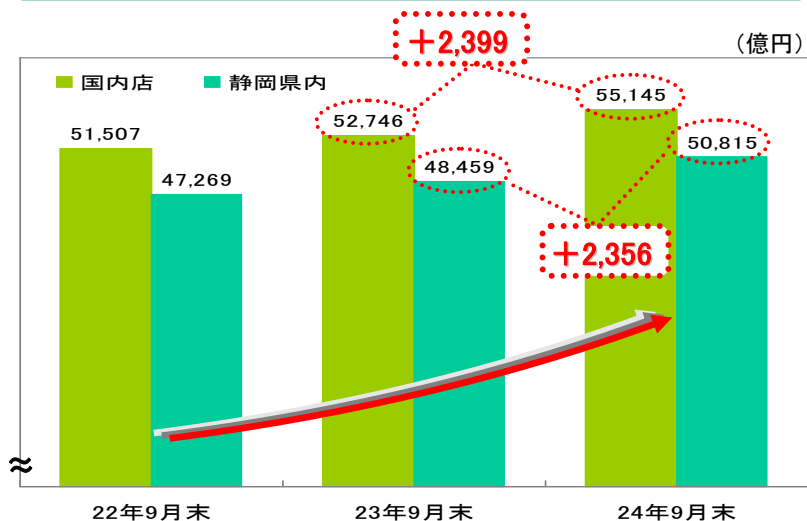


- 24年9月末の預金残高(末残)は76,983億円と前年同期末比+4,074億円(年率+5.6%)の増加となりました。

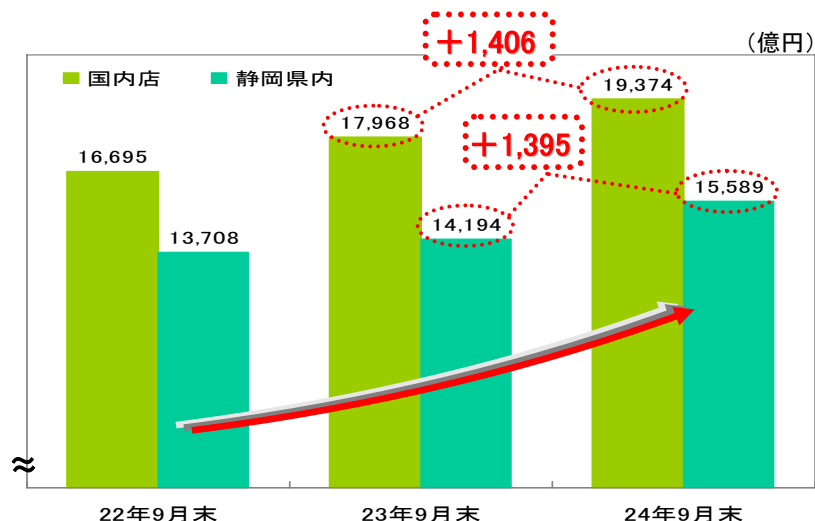
預金残高(末残)増加の主な内訳は以下のとおり

国内営業店	+3,484億円	(年率 +4.8%)
うち静岡県内	+3,426億円	(年率 +5.4%)
うち個人	+2,399億円	(年率 +4.5%)
うち法人	+1,406億円	(年率 +7.8%)

うち個人預金残高（末残）の推移

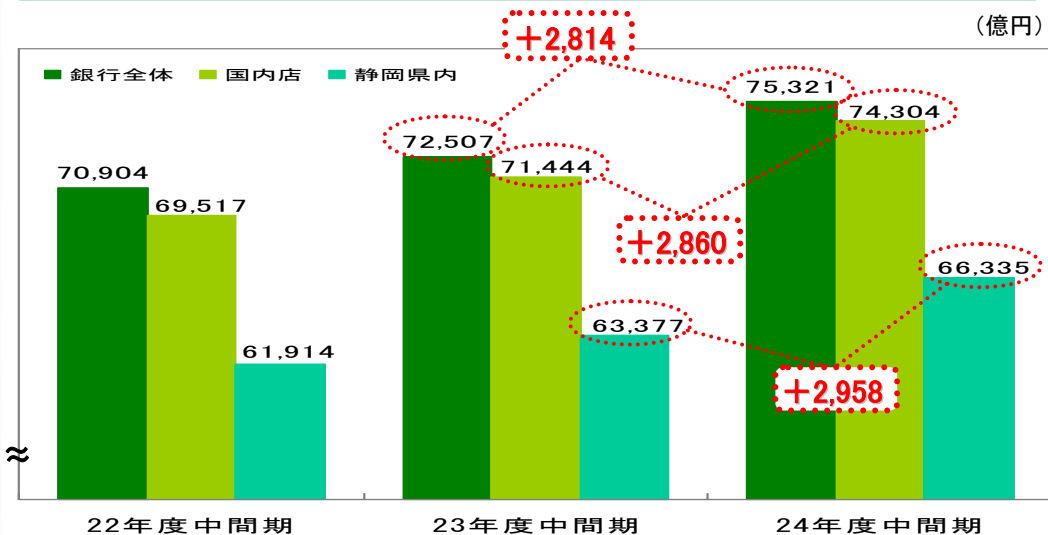


うち法人預金残高（末残）の推移



預金の状況②

預金残高（平残）の推移

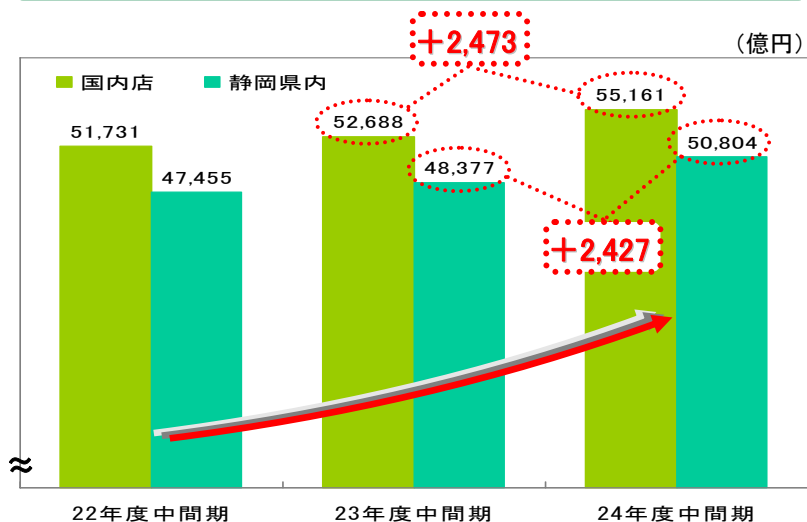


- 24年度中間期の預金残高(平残)は75,321億円と前年同期比+2,814億円(年率+3.9%)の増加となりました。

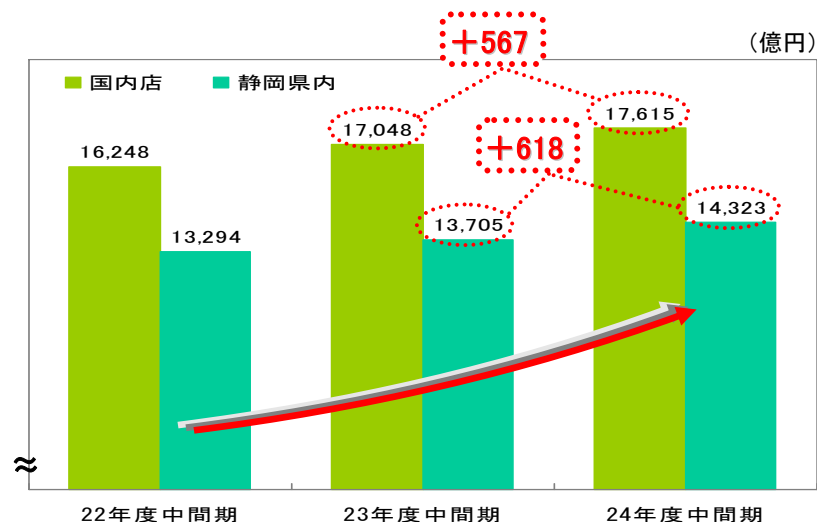
預金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

国内営業店	+2,860億円 (年率 +4.0%)
うち静岡県内	+2,958億円 (年率 +4.7%)
うち個人	+2,473億円 (年率 +4.7%)
うち法人	+567億円 (年率 +3.3%)

うち個人預金残高（平残）の推移



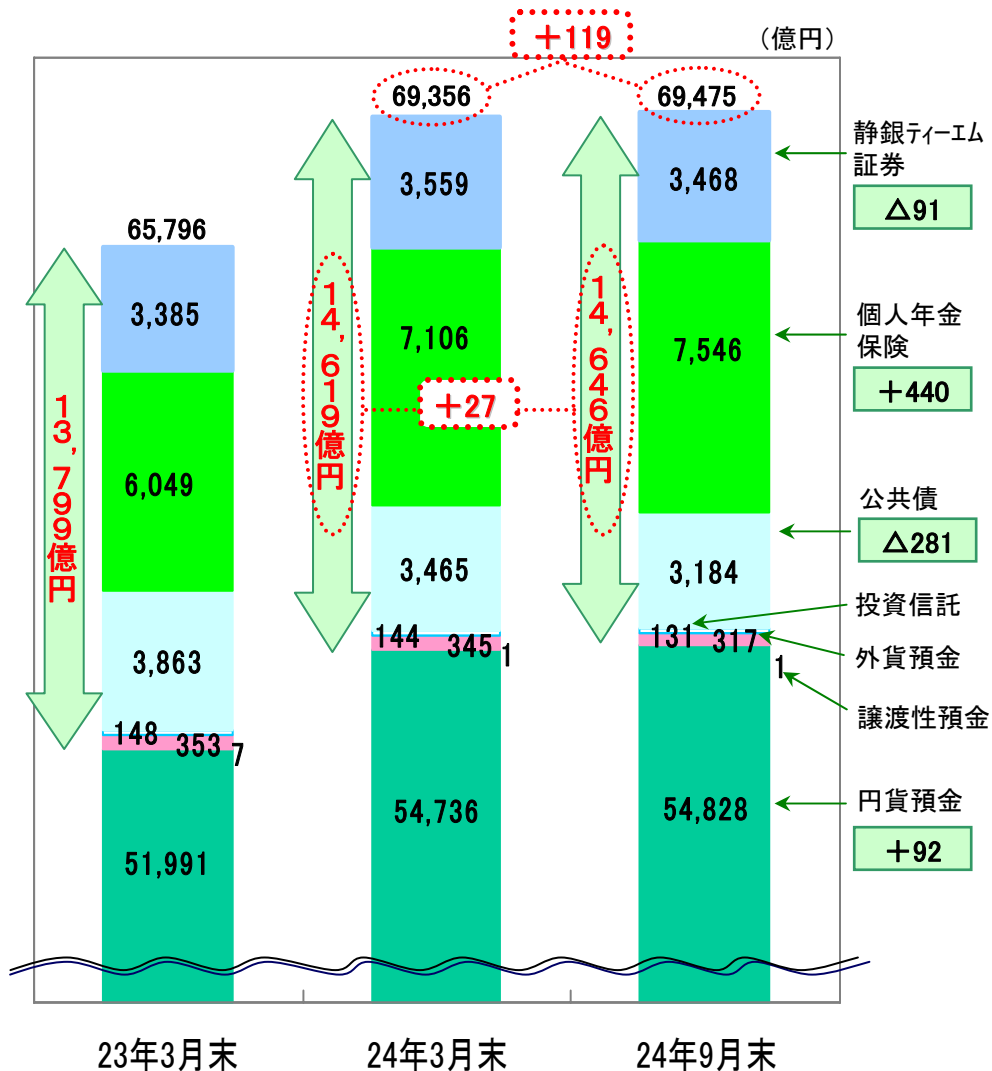
うち法人預金残高（平残）の推移



預り資産の状況

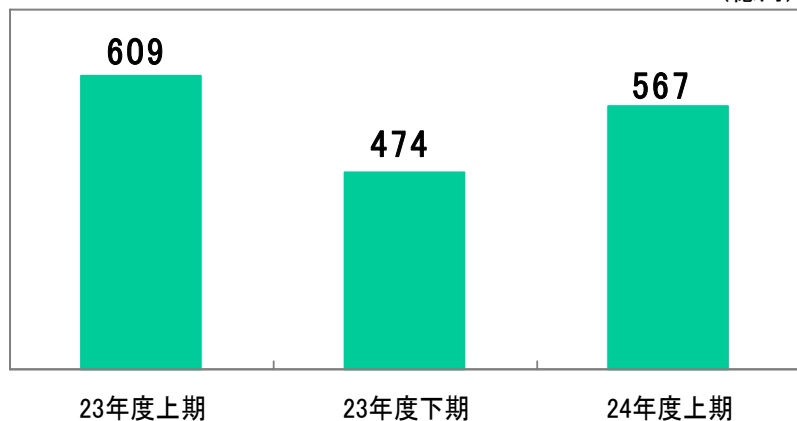
- 24年9月末の静銀ティーエム証券(株)を含む個人預り資産残高は69,475億円(24年3月末比+119億円)、また、資産運用商品(円貨預金・譲渡性預金を除く個人預り資産)残高は14,646億円(同+27億円)となりました。

個人預り資産(末残)の推移

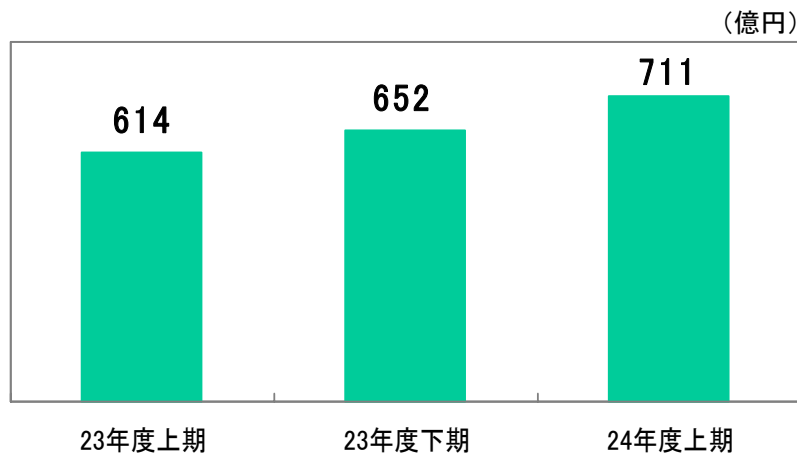


投資信託販売額の推移

- 主として静銀ティーエム証券にて販売



個人年金保険販売額の推移

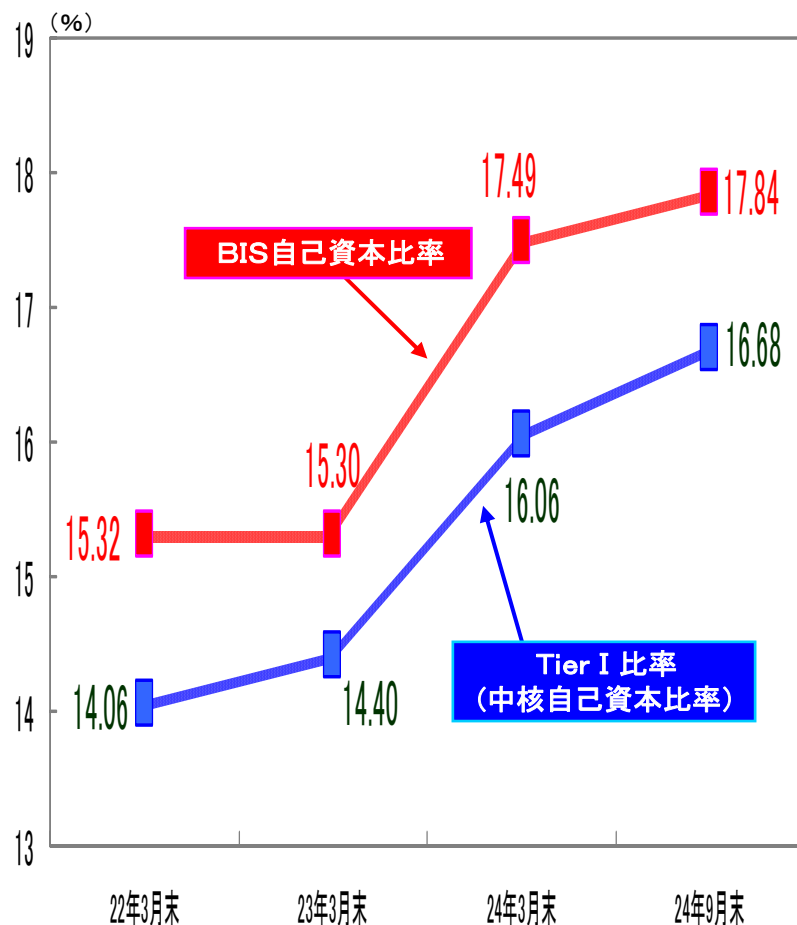


健全性① ～自己資本比率の状況

- バゼルⅡによる自己資本比率（連結ベース）は、信用リスク・アセットの額を中心にリスク・アセット等が減少したことから、24年3月末比+0.35ポイントの17.84%となりました。同様にTier I 比率（中核自己資本比率）についても+0.62ポイントの16.68%となりました。

※リスク・アセット等の計算方法は、信用リスクについては基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスクについては粗利益配分手法を採用しています。

B I S自己資本比率(連結ベース)



自己資本およびリスク・アセット等の推移

	22年 3月末	23年 3月末	24年 3月末	24年 9月末	24年 3月末比
自 己 資 本 ※	6,878	6,861	7,199	7,128	△71
うち Tier I	6,314	6,459	6,611	6,668	57
うち Tier II	676	507	633	509	△124
リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等	44,889	44,829	41,148	39,957	△1,191
信 用 リ ス ク ・ ア セ ッ ト の 額	41,663	41,628	38,004	36,841	△1,163
マ ー ケ ッ ト ・ リ ス ク 相 当 額 に 係 る 額	205	165	142	140	△2
オ ペ レ ー シ ョ ナ ル ・ リ ス ク 相 当 額 に 係 る 額	3,021	3,036	3,002	2,976	△26

※ 自己資本には、優先株、劣後債務等を含んでいません。

健全性② ～与信関係費用の状況

与信関係費用：24年度中間期 △7億円（前年同期比 +66億円）

《与信関係費用の内訳》	24年度中間期	
		前年同期比
不良債権処理額※1 ①	3億円	+2億円
貸倒引当金戻入益※2 ②	10億円	△64億円
一般貸倒引当金繰入額	△19億円	※3 +77億円
個別貸倒引当金繰入額	9億円	△13億円
合 計 ①－②	△7億円	+66億円

- ・債務者区分の引下げ 41億円
- ・担保評価下落 4億円
- ・格上、回収等による取崩 △36億円

※1 不良債権処理額には信用保証協会責任共有制度に関する偶発損失引当金繰入額などを含みます。

※2 貸倒引当金戻入益は一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額をネットtingしたものです。

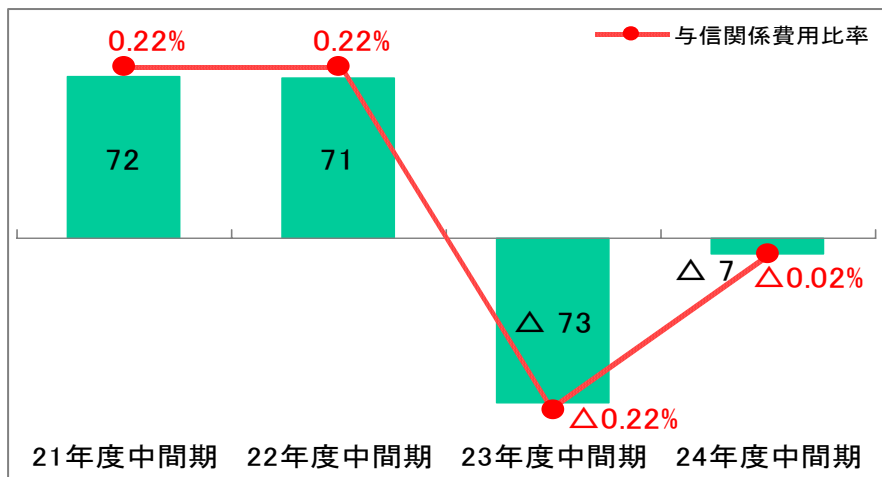
※3 前年同期において貸倒引当金計上基準を変更しております。

与信関係費用・与信関係費用比率の推移

【中間期比較】

(億円)

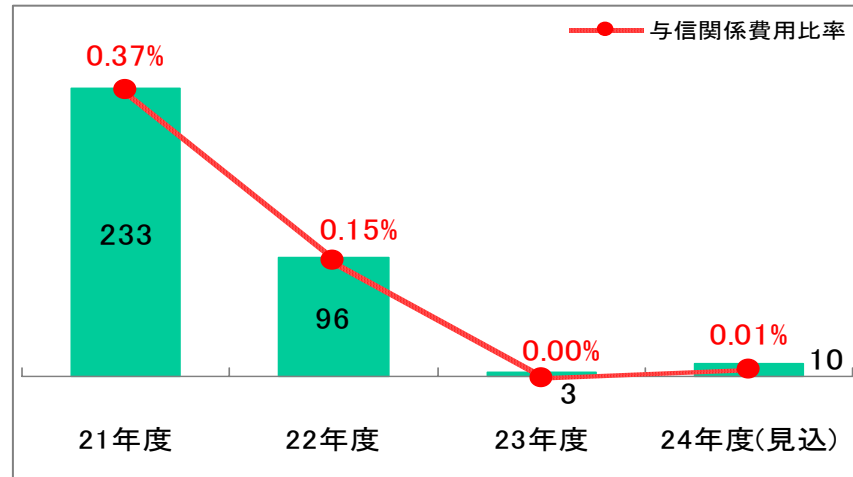
(%)



【年度比較】

(億円)

(%)



※ 与信関係費用比率(年間ベース) = 与信関係費用 ÷ 貸出金平残

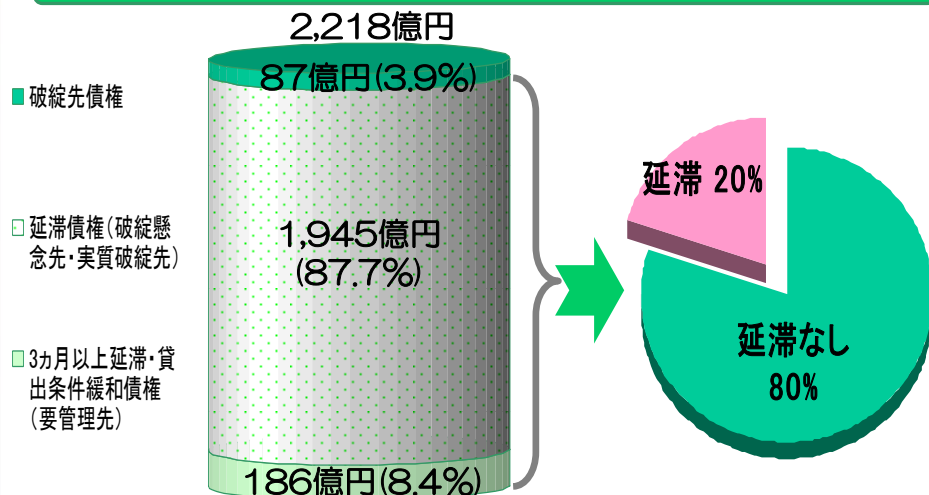
健全性③ ～不良債権の状況

リスク管理債権の状況(単体ベース)

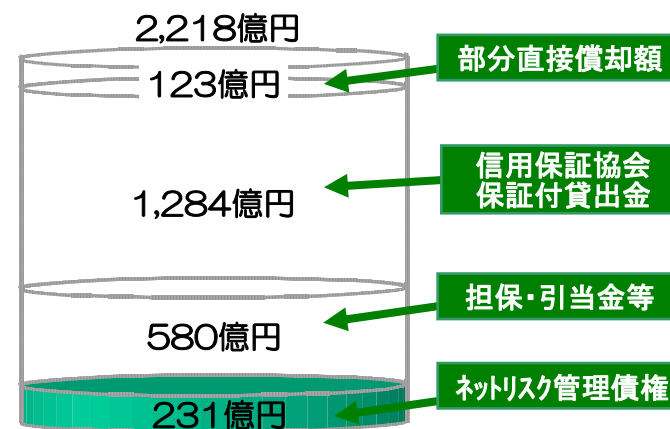
・リスク管理債権	2,218億円 (24年3月末比 △67億円)
・リスク管理債権比率	3.26% (// △0.15ポイント)
・ネットリスク管理債権	231億円 (// +19億円)
・ネットリスク管理債権比率	0.34% (// +0.02ポイント)

※ネットリスク管理債権＝リスク管理債権－部分直接償却－信用保証協会保証付貸出金－担保・引当金等

24年9月末リスク管理債権の内訳



ネットリスク管理債権



不良債権のオフバランス化実績

	22年度	23年度	うち中間期	24年度中間期
新規発生	+721	+529	+299	+245
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△591 (△551)	△669 (△607)	△362 (△329)	△312 (△287)
リスク管理債権	2,425	2,285	2,362	2,218

△67億円

〔245億円の内訳〕 (億円)

要管理先	30
破綻懸念先	165
実質破綻先・破綻先	50

〔287億円の内訳〕 (億円)

本人弁済・預金相殺	55
担保処分・代位弁済	98
格上	93
債権売却	40
直接償却	1

地域密着型金融への取組み①

- 静岡銀行グループでは、「基本理念“地域とともに夢と豊かさを広げます。”の実践を通じて、地域との共生による持続的成長を実現する。」を基本的な方針として、地域密着型金融を推進しています。
- 特に「ビジネスマッチング支援」「次世代経営者塾『Shizuginship』の運営」および「経営改善・事業再生支援」を3つの柱として取り組んでいます。また、第11次中期経営計画の基本戦略の1つ「『先進性』『提案・解決力』を通じた成長の実現」に向けて、「取引先のアジア進出支援」にも積極的に取り組んでいます。

ビジネスマッチング

静岡銀行グループのネットワークを活用した
お客さまニーズのマッチングによる業容拡大支援



Shizuginship

次世代を担う静岡県内の経営者、後継者、
実務担当者の皆さまに、
研鑽と交流の「場」を提供



経営改善支援 事業再生支援

業績低迷等により経営改善や事業
再生を必要とするお客さまの支援



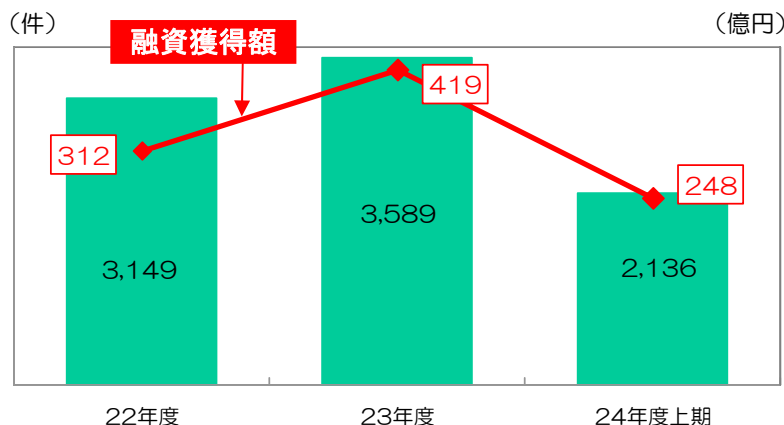
ビジョンの実現

お客さまとともに地域の未来を切り拓く総合金融グループ
～Challenge for the Future

地域密着型金融への取組み②

- ビジスマッチング、次世代経営者塾「Shizuginship」、および経営改善支援・事業再生支援の具体的な成果・実績は以下のとおりです。

ビジスマッチングの成約実績および融資獲得額



主な商談会

- しずぎん@gricom (24年7月、67社出展)
- Japanese Food Trade Fair in Singapore 2012 (24年8月、8社出展)

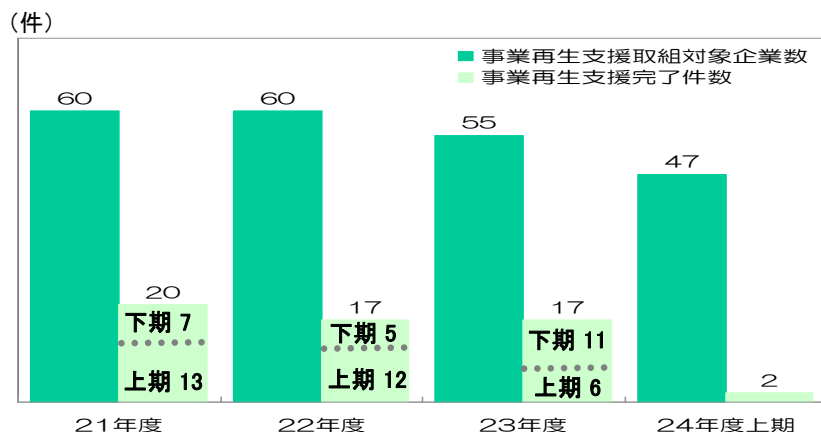
次世代経営者塾「Shizuginship」

- 会員数：860社/ 1,290名 (24年9月末)
- 地域経済の将来を担う人材の育成支援とともに、各種イベントの開催、Webサービスによる情報提供など、会員の皆さまの事業発展をサポートしています。

24年度上期の活動実績 (会員参加人数 のべ 1,669名)

内容	開催実績
地域フォーラム	2回 (東部・中部)
セミナー (著名な経営者や専門家による講演会)	8回
ゼミナール (テーマ別に連続開催する講座)	32回 (9講座)
視察	2回

経営改善・事業再生支援への取組み



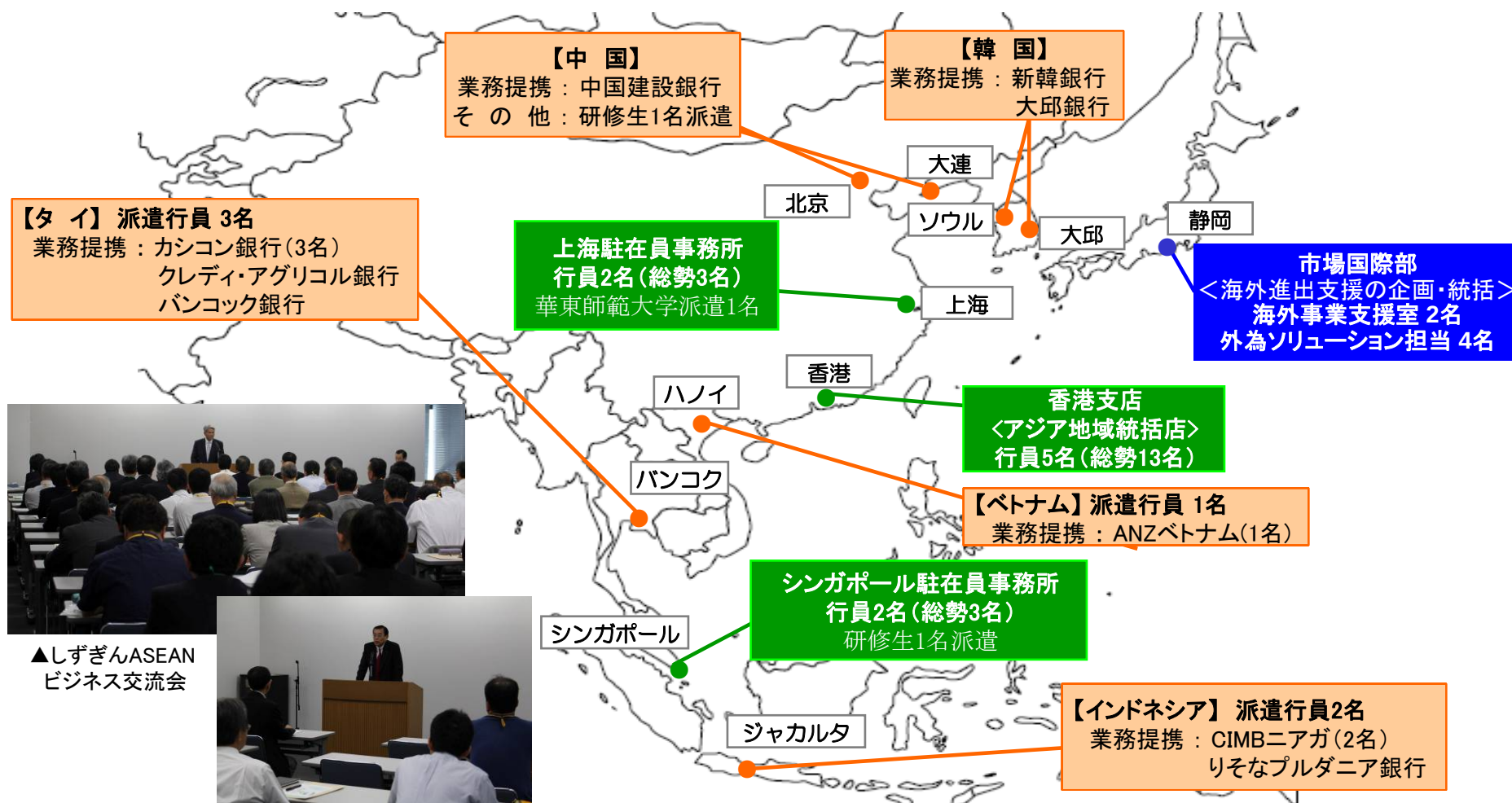
- M&A、DDS、中小企業再生ファンドの活用などに加え、静岡県中小企業再生支援協議会の機能を活用しつつ、個別企業ごとに最適な再生手法により、迅速かつ円滑な事業再生支援に取り組んでいます。
- 24年度上期は、本部による事業再生等集中対応先として47先の事業再生支援に取り組み、このうち2先の支援が完了しました。
- 24年度上期より、事業再生の困難なお客さまが、円滑に転業・廃業を行うための「転・廃業支援」の取り組みを開始しました。
※ 24年度上期は、9先に取り組み、2先の支援を完了しています。

地域密着型金融への取組み③

- 取引先のアジアを中心とする海外進出が増加する中、平成23年1月に市場国際部国際営業統括グループ内に「海外事業支援室」を設置して体制を強化し、海外進出および進出後の事業展開を支援しています。

アジアにおける静岡銀行のネットワーク（平成24年9月末現在）

- こうしたネットワークを活かした取引先支援の前提として、役員のアジア出張の義務化、国内営業店長等による海外視察、通学制英会話スクールをはじめとする教育プログラムの新設など、「人材育成」施策にも継続的に取り組んでいます。



地域密着型金融の推進に関する主要計数

- 24年度上期における地域密着型金融の推進に関する主要計数は、以下のとおりです。

ライフサイクルに応じた支援強化

主要計数	24年度上期実績	(参考) 23年度実績
①経営改善支援取組み率＝経営改善支援取組み先(※1)数／期初債務者数（正常先除く）	1.7%	1.4%
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	271先	221先
期初債務者数（正常先、アパートローンのみ先除く）	15,654先	16,021先
②再生計画策定率＝再生計画策定先(※2)数／経営改善支援取組み先数（正常先除く）	86.3%	83.7%
再生計画策定先数（正常先除く）	234先	185先
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	271先	221先
③ランクアップ率＝ランクアップ先(※3)数／経営改善支援取組み先数（正常先除く）	2.6%	10.0%
ランクアップ先数（正常先除く）	7先	22先
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	271先	221先
④創業・新事業支援融資実績 〔「開業・新事業支援に関する制度融資」の期中実行件数・実行額〕	134件／1,434百万円	304件／2,729百万円

※1 経営改善支援取組み先＊：営業店による経営改善支援先(a)＋本部による事業再生集中対応先(b)＋中小企業支援協議会の再生計画策定先(メイン取引行として対応した先のみ)

※2 再生計画策定先数＊：(a)のうち経営改善計画策定先＋(b)のうち再生計画策定先＋中小企業支援協議会の再生計画策定先(メイン取引行として対応した先のみ)

※3 ランクアップ先：経営改善支援取組み先のうち、平成24年9月末の債務者区分が平成24年3月末と比較し上昇した先

＊重複は除く

株主還元状況

- 「配当性向25%程度かつ大手地方銀行最高水準」の基本方針に則り、業績などを総合的に勘案し、24年度の1株当たり配当額(年間)は、本年5月の公表とおり創立70周年記念配当1円を含み、15円を予定しています。

配当額の推移

	21年度	22年度	23年度	24年度予想
1株当たり配当額(年間)	13.00円	13.00円	13.50円	※15.00円(7.0円)
配当利回り(配当/期末株価)	1.59%	1.88%	1.58%	—

※ 年度末に記念配当1円を含んでいます。

() は中間配当額

株主への利益配分の状況

(億円)

	21年度	22年度	23年度	24年度予想	14～23年度実績 (10年間)
年間配当額①	91	88	89	97	773(累計)
自己株式取得額②	40	150	146	※ 82	778(累計)
株主還元額③=①+②	131	238	235	179	1,551(累計)
当期純利益④	321	354	347	400	2,917(累計)
配当性向①/④×100	28.20%	24.85%	25.54%	24.32%	26.49%(平均)
株主還元率③/④×100	40.64%	67.22%	67.60%	44.91%	53.17%(平均)

※ 上期実施分を記載しています。

業績予想

(億円)

【連 結】	23年度実績	24年度予想	前年度比 (B-A)	(参考)
	(A)	(B)		24年度中間期 実績
連結経常収益	2,051	2,070	19	1,041
連結経常利益	688	690	2	354
連結当期純利益	372	555	183	351

(億円)

【静岡銀行単体】	23年度実績	24年度予想	前年度比 (B-A)	(参考)
	(A)	(B)		24年度中間期 実績
経常収益	1,748	1,770	22	887
業務粗利益	1,483	1,486	3	757
資金利益	1,273	1,225	△48	599
役務取引等利益	148	155	7	77
特定取引利益	0	7	7	1
その他業務利益	62	99	37	79
経費 (△)	811	800	△11	400
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	△22	△22	—
業務純益	672	708	36	356
臨時損益	△49	△68	△19	△29
経常利益	623	640	17	328
当期純利益	347	400	53	208

与信関係費用 (△)	3	10	7	△7
------------	---	----	---	----

＜貸出金の状況＞〔未残ベース〕【単体】

(億円未満四捨五入、増減は表上にて算出)

(億円)

	21年9月末	22年3月末	22年9月末	23年3月末	23年9月末 A	24年3月末 B	24年9月末 C	23年9月末比 C-A	24年3月末比 C-B
貸出金	62,893	63,014	63,730	66,592	66,091	66,949	67,911	1,820	962
国内店①	61,867	62,132	62,911	65,650	65,081	65,719	66,688	1,607	969
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	39,581	39,403	39,625	41,362	40,367	40,848	41,521	1,154	673
うち中小企業向け② ※1	25,839	26,161	26,489	27,727	27,435	28,284	28,116	681	△ 168
公共向け貸出金	1,471	1,399	1,506	2,092	2,176	1,988	2,030	△ 146	42
うち中小企業向け（公社等）③	154	133	179	340	296	289	313	17	24
個人向け貸出金④ ※2	20,815	21,331	21,779	22,195	22,538	22,883	23,137	599	254
（消費者ローン） ※2	20,864	21,377	21,824	22,240	22,571	22,917	23,165	594	248
海外店	1,025	882	819	942	1,010	1,230	1,223	213	△ 7
うち中小企業向け②+③	25,993	26,294	26,667	28,067	27,731	28,573	28,429	698	△ 144
うち中小企業等⑤=②+③+④	46,808	47,625	48,446	50,262	50,269	51,456	51,566	1,297	110
中小企業等貸出金比率⑤/①	75.65%	76.65%	77.00%	76.56%	77.24%	78.29%	77.32%	0.08%	△ 0.97%

【静岡県内の貸出金】

(億円)

	21年9月末	22年3月末	22年9月末	23年3月末	23年9月末 A	24年3月末 B	24年9月末 C	23年9月末比 C-A	24年3月末比 C-B
静岡県内の貸出金	42,762	42,995	43,436	45,806	45,389	45,936	45,985	596	49
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	24,183	24,107	24,146	25,552	24,804	25,275	25,198	394	△ 77
うち中小企業向け⑥ ※1	20,349	20,464	20,649	21,704	21,372	22,056	21,907	535	△ 149
公共向け貸出金	1,456	1,387	1,446	2,084	2,169	1,977	1,946	△ 223	△ 31
うち中小企業向け（公社等）⑦	145	126	174	336	292	282	232	△ 60	△ 50
個人向け貸出金⑧ ※2	17,122	17,501	17,844	18,170	18,415	18,684	18,841	426	157
（消費者ローン） ※2	17,077	17,457	17,800	18,129	18,365	18,638	18,793	428	155
うち中小企業向け⑥+⑦	20,494	20,590	20,823	22,040	21,664	22,338	22,139	475	△ 199
うち中小企業等⑥+⑦+⑧	37,616	38,091	38,667	40,210	40,079	41,022	40,980	901	△ 42

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

<貸出金の状況>〔平残ベース〕【単体】

(億円)											
	21年度			22年度			23年度			24年度	前年同期比 B-A
		上期	下期		上期	下期		上期 A	下期	上期 B	
貸出金	62,752	62,743	62,761	63,256	62,678	63,836	65,177	65,008	65,346	65,599	591
国内店①	61,642	61,507	61,777	62,385	61,853	62,919	64,130	64,107	64,154	64,459	352
一般貸出金（企業向け貸出金）※1	39,479	39,621	39,337	39,214	38,993	39,436	39,598	39,800	39,395	39,605	△ 195
うち中小企業向け② ※1	25,561	25,458	25,665	25,798	25,636	25,961	26,362	26,210	26,515	26,726	516
公共向け貸出金	1,477	1,486	1,468	1,550	1,458	1,643	2,133	2,087	2,178	2,002	△ 85
うち中小企業向け(公社等)③	160	144	176	175	117	234	323	316	330	279	△ 37
個人向け貸出金④ ※2	20,685	20,400	20,972	21,621	21,402	21,840	22,400	22,220	22,580	22,852	632
(消費者ローン) ※2	20,740	20,458	21,023	21,668	21,449	21,887	22,439	22,263	22,616	22,883	620
海外店	1,111	1,236	984	871	825	917	1,047	902	1,192	1,140	238
うち中小企業向け②+③	25,721	25,602	25,841	25,973	25,753	26,195	26,685	26,526	26,845	27,005	479
うち中小企業等⑤=②+③+④	46,406	46,002	46,813	47,594	47,155	48,035	49,085	48,746	49,425	49,857	1,111
中小企業等貸出金比率⑤/①	75.28%	74.79%	75.77%	76.29%	76.23%	76.34%	76.53%	76.03%	77.04%	77.34%	1.31%

【静岡県内の貸出金】

(億円)											
	21年度			22年度			23年度			24年度	前年同期比 B-A
		上期	下期		上期	下期		上期 A	下期	上期 B	
静岡県内の貸出金	42,411	42,319	42,503	42,766	42,482	43,052	44,119	44,050	44,189	44,264	214
一般貸出金（企業向け貸出金）※1	23,944	24,053	23,834	23,568	23,507	23,630	23,693	23,808	23,579	23,659	△ 149
うち中小企業向け⑥ ※1	20,059	20,064	20,054	19,942	19,832	20,053	20,274	20,248	20,301	20,501	253
公共向け貸出金	1,463	1,472	1,454	1,490	1,437	1,545	2,125	2,079	2,171	1,976	△ 103
うち中小企業向け(公社等)⑦	151	135	167	169	111	228	319	312	326	257	△ 55
個人向け貸出金⑧ ※2	17,004	16,794	17,215	17,707	17,538	17,878	18,301	18,163	18,439	18,630	467
(消費者ローン) ※2	16,965	16,757	17,174	17,666	17,496	17,837	18,257	18,121	18,393	18,583	462
うち中小企業向け⑥+⑦	20,210	20,199	20,221	20,111	19,943	20,281	20,593	20,560	20,627	20,758	198
うち中小企業等⑥+⑦+⑧	37,214	36,993	37,436	37,818	37,481	38,159	38,894	38,723	39,066	39,388	665

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

＜有価証券の状況＞ 【単体】

(億円未満四捨五入、増減は表上にて算出)

○有価証券ポートフォリオ

	22年3月末		23年3月末		24年3月末		24年9月末		(億円) 24年3月末比	
		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)
有価証券	20,265	100.0	20,489	100.0	22,509	100.0	20,722	100.0	△ 1,787	—
国債	5,853	28.9	8,014	39.1	11,190	49.7	10,668	51.5	△ 522	1.8
地方債	1,024	5.1	706	3.4	634	2.8	556	2.7	△ 78	△ 0.1
社債	6,784	33.5	5,441	26.6	3,682	16.4	2,593	12.5	△ 1,089	△ 3.9
株式	2,388	11.8	2,128	10.4	2,072	9.2	1,810	8.7	△ 262	△ 0.5
その他	4,216	20.7	4,200	20.5	4,931	21.9	5,095	24.6	164	2.7
(うち外貨債券)	3,659	18.1	3,772	18.4	4,657	20.7	4,733	22.8	76	2.1
(うち投資信託)	240	1.1	270	1.3	118	0.5	231	1.1	113	0.6

○有価証券評価損益

	22年3月末	23年3月末	24年3月末	24年9月末	(億円) 24年3月末比
その他有価証券	1,332	1,032	1,276	1,066	△ 210
株式	1,145	903	881	607	△ 274
債券	156	99	218	263	45
その他(外債、投信等)	31	30	177	196	19

※「その他有価証券」とは、有価証券のうち、売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式を除いたものをいいます。

日経平均株価	11,089.94 円	9,755.10 円	10,083.56 円	8,870.16 円	△ 1,213.40 円
--------	-------------	------------	-------------	------------	--------------

○減損処理による影響

(億円)	
減損基準	損益への影響
●時価のある株式・債券 期末の時価が簿価に比べ30%以上下落したもの	35.3
●時価のない株式等 期末の実質価額が簿価に比べ30%以上下落したもの	2.3
合 計	37.6

<預金・預り資産の状況> 【単体】

○預金の状況（末残）

（億円）

	21年9月末	22年3月末	22年9月末	23年3月末	23年9月末 A	24年3月末 B	24年9月末 C	23年9月末比 C-A	24年3月末比 C-B
預金	71,025	71,977	71,637	73,530	72,909	76,741	76,983	4,074	242
国内営業店預金	68,814	70,268	69,805	72,388	72,197	75,855	75,681	3,484	△ 174
うち個人預金	51,279	51,552	51,507	52,344	52,746	55,081	55,145	2,399	64
うち法人預金	15,850	16,095	16,695	17,609	17,968	18,145	19,374	1,406	1,229
静岡県内預金	61,417	62,956	62,198	64,562	63,966	68,362	67,392	3,426	△ 970
うち個人預金	46,941	47,247	47,269	48,022	48,459	50,691	50,815	2,356	124
うち法人預金	13,165	13,443	13,708	14,500	14,194	15,166	15,589	1,395	423
譲渡性預金	3,920	2,789	3,352	3,108	4,332	4,141	2,634	△ 1,698	△ 1,507
合計	74,945	74,766	74,989	76,638	77,241	80,883	79,617	2,376	△ 1,266

○個人預り資産の状況（末残）

（億円）

	21年9月末	22年3月末	22年9月末	23年3月末	23年9月末 A	24年3月末 B	24年9月末 C	23年9月末比 C-A	24年3月末比 C-B
個人預り資産残高（銀行本体）	60,616	61,370	61,423	62,411	62,851	65,797	66,007	3,156	210
円貨預金	50,951	51,221	51,179	51,991	52,412	54,736	54,828	2,416	92
譲渡性預金	6	7	6	7	1	1	1	－	－
外貨預金	328	331	328	353	334	345	317	△ 17	△ 28
投資信託	151	160	145	148	135	144	131	△ 4	△ 13
公共債	4,240	4,199	4,070	3,863	3,723	3,465	3,184	△ 539	△ 281
個人年金保険	4,939	5,453	5,696	6,049	6,246	7,106	7,546	1,300	440
静銀フィード証券の個人預り資産	2,882	3,208	3,198	3,385	3,251	3,559	3,468	217	△ 91
静銀フィード証券を含む個人預り資産	63,498	64,578	64,621	65,796	66,102	69,356	69,475	3,373	119
うち円貨預金・譲渡性預金除き	12,540	13,350	13,436	13,799	13,689	14,619	14,646	957	27

＜平成24年9月末の自己査定結果、金融再生法開示債権、リスク管理債権＞ 【単体】

- ・ 総与信に占める金融再生法開示基準による不良債権の割合3.21%（部分直接償却を実施した場合の総与信に占める割合3.04%）
- ・ 貸出金に占めるリスク管理債権の割合3.26%（部分直接償却を実施した場合の貸出金に占める割合3.08%）

(億円、%)

自己査定における債務者区分		自己査定分類区分（対象：貸出金等与信関連債権）				担保・保証等による保全額	引当額	保全率	金融再生法に基づく開示債権 対象：要管理債権は貸出金のみ (その他は貸出金等与信関連債権) うち私募債		リスク管理債権 対象：貸出金
破綻先 86 〈43〉		69 〈26〉	17	- (7)	- (43)	283	161	100.0%	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 444 〈330〉		破綻先債権 86 〈43〉
実質破綻先 358 〈286〉		269 〈198〉	89	- (39)	- (72)						延滞債権
破綻懸念先 1,591 〈1,583〉		1,224 〈1,215〉	206	161 (86)		1,345	86	89.9%	危険債権 1,594 〈1,585〉		1,945 〈1,865〉
要 注 意 先	要管理先 217	6	211			要管理先の保全額 121	17	63.6%	要管理債権		3カ月以上延滞債権 15
						要管理先のうち要管理債権に対する保全額 99	15	61.2%	(貸出金のみ) 186		貸出条件緩和債権 171
						要管理先のうち要管理債権以外の保全額 22	2	77.9%			合計 2,218 〈2,094〉
要 注 意 先 以外 の 要 注 意 先						要管理先以外の要 注意先保全額			正常債権 66,853		
10,602		4,730	5,655			7,110	211	70.5%			
10,385											
正常先 56,183		56,183					203				255
合計 68,820 〈68,697〉		非分類合計 62,481 〈62,358〉	Ⅱ分類合計 6,178	Ⅲ分類合計 161 (132)	Ⅳ分類合計 - (115)		合計 678		合計 69,077 〈68,954〉		257

- ※1. 貸出金等与信関連債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、未収利息、貸出金に準ずる仮払金、クレジットカード未収金
2. 自己査定分類区分における（ ）内は分類額に対する引当額です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当しております。
3. 当行は部分直接償却は実施していませんが、実施した場合の与信残高を〈 〉内に記載しております。部分直接償却 123億円
4. 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等（優良担保・優良保証）を控除した額をすべてⅡ分類としております。
5. 正常先については、国・地公体向けの非区分債権が含まれております。
6. 金融再生法開示債権には、時価評価をした銀行保証付私募債が含まれております。

<債務者区分の遷移状況（残高ベース）> 【単体】

【24年3月～24年9月】

（億円）

		当初残高 A	24 年 9 月 末							デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先 B	実質破綻先 C	破綻先 D	その他	B+C+D = E	E/A	当金繰入額 F	F/A
24 年 3 月 末	正常先	54,889	52,016	939	8	27	6	1	1,892	34	0.06%	12	0.02%
	要注意先	10,710	735	9,658	28	142	31	23	94	196	1.83%	19	0.17%
	要管理先	211	7	11	179	6	0	—	7	6	2.84%	1	0.47%
	破綻懸念先	1,603	4	79	4	1,439	36	21	20				
	実質破綻先	415	1	6	1	23	312	8	63				
	破綻先	90	—	3	—	3	—	57	27				

【23年9月～24年9月】

（億円）

		当初残高 A	24 年 9 月 末							デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先 B	実質破綻先 C	破綻先 D	その他	B+C+D = E	E/A	当金繰入額 F	F/A
23 年 9 月 末	正常先	54,023	50,223	1,638	28	44	12	11	2,067	67	0.12%	21	0.03%
	要注意先	10,488	1,041	8,927	39	248	40	40	154	328	3.12%	30	0.28%
	要管理先	216	20	29	146	9	1	—	10	10	4.62%	2	0.92%
	破綻懸念先	1,652	6	139	9	1,335	63	31	69				
	実質破綻先	467	1	16	1	35	287	19	109				
	破綻先	73	—	3	—	1	1	20	49				

※ 1. 計上基準：与信残高は24年3月末、23年9月末の残高を使用し、24年9月末までの間の与信額の増減は考慮していません。

2. その他については24年9月末時点で取引解消、オフバランス化しているものを計上しています。